

第12回新居浜市レジ袋削減推進協議会議事録

- 1 開催日時 平成26年 1月 8日(水) 14:00～15:00
- 2 開催場所 新居浜市役所5階大会議室
- 3 出席者
(新居浜市) 市長、環境部長
事務局 ごみ減量課長、ごみ減量課副課長、ごみ減量課係長
(事業者) コープえひめ、(株)ハローズ、(株)フジ、マックスバリュ西日本(株)、
(株)ママイ、(株)マルナカ、(株)マルヨシセンター、(株)レデイ薬局
(市民団体等) にいはま環境市民会議、にいはま消費者友の会、グループさつき生活学校
新居浜市女性連合協議会、新居浜商工会議所
- 4 欠席者
(スーパー) イオンリテール(株)、(株)木村チェーン
(ドラッグストア) (株)大屋
(ホームセンター) ダイキ(株)
- 5 報道関係
3社(朝日新聞、愛媛新聞、毎日新聞)
- 6 内 容
(事務局)
定刻が参りましたので、ただ今から第12回新居浜市レジ袋削減推進協議会を開催いたします。
まず、本日の出席状況ですが、今回の協議会から、ハローズ様が参加されることとなりましたのでよろしく願いいたします。ごあいさつは後ほどいただきたいと思っております。また、イオンリテール様、木村チェーン様、大屋様、ダイキ様からは、欠席とのご連絡をいただいております。
次に、本協議会の会長についてですが、前任の環境部長が異動になっており、協議会規約上は互選となっておりますが、便宜上、市の環境部長が務めさせていただいております。今回につきましても、現環境部長が会長を務めさせていただいてよろしいでしょうか。
<了承>
ありがとうございます。
それでは、会長に議事をお願いしたいと思います。

(会長)

本日は、お忙しい中、また遠方より多数のご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。本協議会の会長に私を選任していただきましたが、微力ながら頑張らせていただきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いたします。

それでは、本日の協議会の主題であります「市内スーパー全店舗での無料配布中止」についての協議に入らせていただきます。これまでの各事業者様との事前協議におきまして、本年3月1日から新たにスーパー4事業者様が無料配布中止を実施していただける方針である、とのお話をいただいておりますので、新規開始予定の各事業者様より、3月1日からの無料配布中止の実施表明を含めまして、ご挨拶をいただきたいと存じます。まずハローズ様よりお願いたします。

(ハローズ)

弊社ハローズは、新居浜郷店の出店をもちまして全社で61店舗目、県内で6店舗目となりますが、この度、初めてレジ袋の有料化に取り組んでいく、という次第であります。開店が2月の上旬を予定しておりまして、開店のスケジュール等が終了し落ち着いたころ、というところで3月1日実施という日程を決めさせていただいたかたちでございます。レジなどの端末機の関係に関しましては、前もって取り組んでおりますので、問題なく対応できるかなと感じておりますが、イレギュラーがあった時に会社の方で協議して取り組んでいきたいと考えております。3月1日からスタートになりますが、100%対応できる、というのはまだ正直感じておりませんが、いろいろなイレギュラーに対応しながら進めていきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

(会長)

ありがとうございました。つづきまして、マルナカ様よろしくお願いたします。

(マルナカ)

私共もハローズ様と同様に初めての取り組みでございまして、この新居浜をもちましてスタートさせていただきます。何分、今までやっておりませんので、システム、仕組みを今後、検討してつめていく予定であります。現在の若水店、久保田店、新居浜本店の3店舗を運営しておりますが、こちらの方でスタートしてやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

(会長)

ありがとうございました。つづきまして、マルヨシセンター様よろしくお願いたします。

(マルヨシセンター)

確か昨年の8月末だったと思いますが、市から今回のご提案をいただきまして、その後、当社でもシステム系のところを検討してまいっております。3月1日に開始できるような準備を整えていこうと思っております。よろしくお願いいたします。

(会長)

ありがとうございました。つづきまして、ママイ様よろしくお願いいたします。

(ママイ)

弊社におきましても、3月1日に向けて準備しておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(会長)

皆様ありがとうございました。ただいまの各事業者様からの実施表明によりまして、今年3月1日よりスーパー9事業者様が足並みを揃えて無料配布中止を実施していただけることとなり、まことにありがとうございます。3月1日までは2か月足らずの期間しかありませんので、新規開始事業者様には大変あわただしいこととは存じますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

つづきまして、石川新居浜市長が無料配布中止ご協力への御礼を申し上げます。

(市長御礼あいさつ)

(会長)

ありがとうございました。申し訳ありませんが、市長は次の公務がありますのでここで退席させていただきます。

つづきまして、レジ袋削減の協定について協議したいと思います。

現在無料配布中止を行なっている事業者様には、市民団体の皆様、商工会議所様及び市長とレジ袋削減に関する協定を締結していただいております。

今回新たに無料配布中止を行なっていただくことになる事業者様につきましても、同様の協定を締結したいと考えており、事前に協定書の様式を送付させていただいております。その内容につきまして、平成21年の締結時とは若干の変更をしておりますので、その点につきまして事務局がご説明いたします。

(事務局)

<変更点を説明>

(会長)

事務局説明のとおり、若干の変更がありますので、「全事業者様分の協定を締結しなおす」という方法もありますが、市としましては、今回の協定書からのみ女性連合協議会の署名をいただき、平成21年の協定書についてはそのままの状態継続するという形を考えております。

これについては皆様いかがでしょうか。

<了承>

ありがとうございます。

つづきまして、無料配布中止の拡大実施スケジュールについて事務局がご説明いたします。

(事務局)

<スケジュールを説明>

(会長)

今の事務局の説明に対しまして、ご質問ご意見などはございますか。

(フジ)

告知ポスターにある「市内スーパー全店舗」という表現につきまして、今回は主要なスーパーさんは参加されますが、小さな小売店等たくさんありますので、そういうところも逆に勘違いされるのではないかと思います。表現的に「全店舗」ということでは市民の皆様にも「全店舗でやるのか」と、誤解を招くことも考えられます。スーパーという定義が非常にあやふやなもので、大きめのコンビニのようなところもスーパーと感ぜられる方もいらっしゃいますので、表現的に変更することが可能ならば変更するとか、事業者数、店舗数を明記するとかされた方がよろしいのではないかと感じます。ただ、全店舗としている方がアピール性はあるとは思いますが。

(会長)

皆さん、先のフジさんのご意見はいかがでしょう。

(コープえひめ)

ポスターの下に参加事業者のロゴマークが入るのですよね。それならば、たとえば全店舗(下記)という表現もあるのではないのでしょうか。

(会長)

では、ご提案いただいたことを事務局の方でアレンジいたしまして、ご迷惑のかからないように対応させていただきます。

協定締結式のご案内、キャンペーンの日程調整あるいは参加要請につきましては、後日事務

局よりご連絡させていただきますので、大変お手数ではございますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

(マルナカ)

先ほどの説明で、実施前の2月にキャンペーンを行うことは了解したのですが、実施当日の3月1日はどうなるのでしょうか。

(事務局)

本来は3月1日にもキャンペーンをできればよいのですが、同日に全11店舗でキャンペーンというのは困難ですので、キャンペーンにつきましては、2月中に3月1日から実施するキャンペーン告知を行い、3月には市政だよりでお知らせをするということではいかがでしょうか。

(マルナカ)

各事業者さんともスタートする日が一番重要なので、それぞれの事業者さんともスタートすにあたって何らかのことを考えられていると思うのですが、そういう時に市民団体さんに後押しいただいて一緒にキャンペーンをできれば、スムーズにスタートできるのではないかと思います。もちろん、事前に行っていただくのも重要なのですが。

(事務局)

全店舗では難しいかもしれませんが、各事業者最低1店舗で3月1日にキャンペーンを行いたいと思います。

(マルナカ)

3月1日に始めるにあたって、メディアで取り上げてもらうと事業者としては推進しやすいので、3月1日にはメディアに取り上げられやすいような取り組みを入れていただくとやりやすいのですが。

(事務局)

わかりました。検討させていただきます。市民団体のご協力もお願いできればと思いますので、よろしくお願いいたします。

(会長)

本日は報道の方もおられますが、改めてご案内いたしますので、3月1日の報道もよろしくお願いいたします。

次に、今後の取組として、無料配布中止未実施事業者に対する取組について事務局からご説明いたします。

(事務局)

<未実施事業者への対応について説明>

(会長)

今の事務局の説明に対しまして、ご質問ご意見などはございますか。無ければ、来年度のレジ袋削減事業について事務局からご説明いたします。

(事務局)

<来年度のレジ袋削減事業について説明>

(会長)

来年度のレジ袋削減事業につきましてご説明させていただきましたが、何かご質問ご意見などはございますか。無ければ、環境保全基金の活用状況などについて事務局からご説明いたします。

(事務局)

<環境保全基金の活用状況等について説明>

(会長)

環境保全基金の活用につきまして説明いたしましたが、何かご意見ご質問はございますでしょうか。

(コープえひめ)

これまでは環境保全活動に活用するという事で割合明確であったのであまり考えておりませんでしたが、社会貢献活動にも活用できるように拡大されると、その線引きが難しいのですが、今後活用先というのは事業者としてどういうふうに決めていけばよろしいでしょうか。

(事務局)

協定書に活用先がありますが、その意味は、レジ袋の収益を事業者の収益にするのではなく、環境保全に活用し、マイバッグをもってきていただくために有料にする、ということをも市民の方に事業者様の立場として明確にするという趣旨で、この協定の項目がありますので、活用先が消費者の方に分かる形にさせていただいて、消費者の方が納得できればよい、というのが協定の趣旨であると思います。

また、環境保全基金は、新居浜市が市民のために使うということで分かりやすいため、そういった受け入れ先の設置を求める事業者様からの要望もあつたので、環境保全基金に寄付して

いただいているということもあるのですが、本来は、環境保全基金への寄付以外にも事業者様がどのような活動に収益金の一部を活用しているというのが市民の方に分かればいいのだろうと思っております。今回提案の協定書では、新規開始の事業者様からその他の社会貢献活動に活用することを考えられている、というお話もありましたので、環境保全活動のみに限定する必要もないであろうと判断し、変更しております。

(マルナカ)

資料のレジ袋削減枚数と環境保全基金への寄付額を表わした表を見ますと、平成23年度からレジ袋の削減枚数が減少しているのに寄付額が増えていますが、何か理由はありますか。

(事務局)

レジ袋収益の一部を寄付されるということですので、例えば市以外にも国へ寄付される事業者様もございますし、1枚分の収益でいくら寄付するということが定められているものではないので、事業者様の判断によって変化しております。

(マルナカ)

事業者としましては活用先が拡大されるのはありがたいのですが、一方、市民の方にとっては、不透明である気がします。市へ寄付されていない場合の用途につきましては、市が把握されていますか。

(事務局)

毎年度のマイバッグ持参率報告書の様式におきまして、レジ袋無料配布中止による収益金の使途記入欄がございまして、ご報告いただいております。

(マルナカ)

当初、CO2削減のために始めたレジ袋の収益を環境保全活動に活用するというのは非常に明確で、収益の活用先を社会貢献活動にも拡大すると概念が広がり、市民にとって分かりにくくなるのではないかと問題があります。そのあたりはそれほど厳密にする必要はないのかもしれませんが、公表することがふさわしいかは別として、市が用途を把握されておく必要はあると思います。

(事務局)

報告書に記載していただければ、市政だより等でこういった活動に活用していますということで市民の方へお知らせすることもできますので、そのような紹介もさせていただきます。趣旨としては、先ほど申し上げました趣旨で協定書に書いておりますので、用途をそれほど限定する必要はない、と考えております。

(会長)

その他、何かご質問ご意見などはございますか。

(フジ)

先ほどドラッグストアやホームセンターやコンビニへのアプローチが進んでいないとの報告がありましたが、今後の取り組みとしまして、スーパー外事業者や他市への活動の拡大に強く取り組んでいただきますようお願いします。

(市民団体)

レジ袋の収益金から寄付された環境保全基金の活用先について、こんなにいいことに活用されていることをこれまで知りませんでした。こういうことをより広報すれば、市民の方たちも協力しやすくなると思います。

(事務局)

これまでも環境保全基金の活用先の広報には、市政だよりで大きく度々掲載するなどしていますが、今後もより効果的に周知できるよう心がけます。

(会長)

その他、何でも結構ですが何かありませんか。

それでは、3月1日の実施に向けまして、事業者様、市民団体さんのご協力をよろしく願いいたします。

これを持ちまして協議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。